

【ちーむまちのタネ】



政策テーマ
蒲郡の魅力発信

メンバー

塚原拳斗
堀野義人
田中心結
船坂崇平

02

ちーむまちのタネ

ちーむまちのタネのメンバー

塚平 拳斗

田中 心結

船坂 崇平

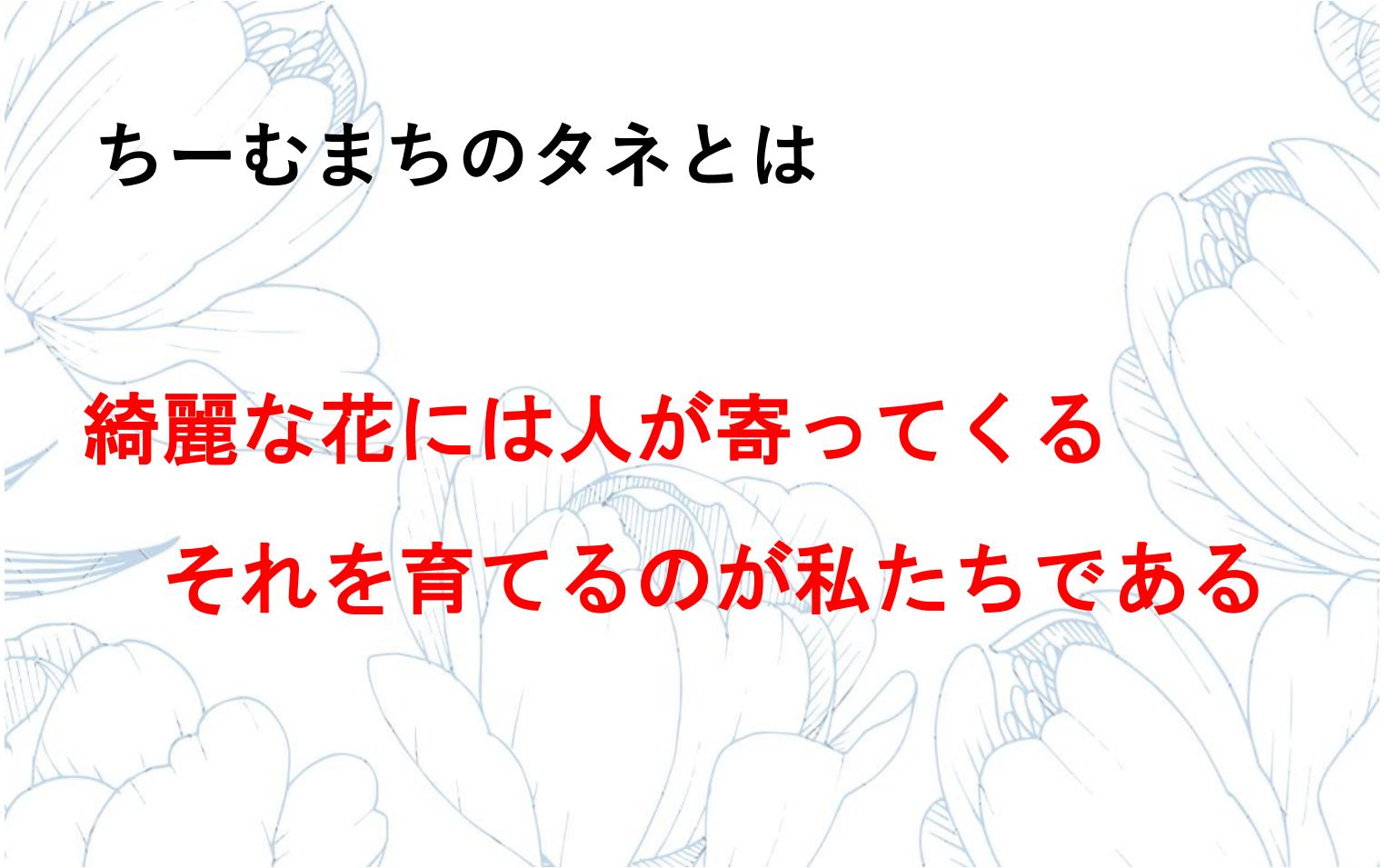
堀野 義人



ちーむまちのタネとは

綺麗な花には人が寄ってくる

それを育てるのが私たちである



蒲郡市の課題

- 人口の減少
- 空き家の増加
- 駅前など、市街地の整備
- 商業、サービス業の振興



移住の現状と課題

- 移住先に選ばれないのは
 - 暮らすイメージが出来てない
 - 交通の便が意外といいことが知られてない
 - 住みたいと思う住宅が少ない
 - 住み慣れていない町で新築は
 心理的にも価格も高い
 - 海、温泉地、商店街などを最大限魅力的に活
 用できていない
 - 観光資源はあるが滞在体験が不足
-

理想の未来像を語ろう

駅前にはオフィスや商業施設が並び
温泉地は観光客で賑わい
夏には海水浴を楽しむ人々が集い
海鮮グルメや飲食文化が盛り上がり
『遊ぶなら、食べるなら、住むなら蒲郡』
と思ってもらえる街

理想の未来像

政策:くらしの質が高まる 豊かなまち



**施策:定住・移住を考えている
ファミリー層、テレワーカーに
選ばれるまちづくり**

事業内容

蒲郡サブスク
移住プロジェクト



山・海・温泉・ロケーションを
暮らしながら体験

プロジェクト概要

蒲郡の山・海・温泉など多彩な魅力が詰
まった空き家を再生し、月単位で移り住む
るサブスク型移住体験拠点として利活用
地域の自然や文化を暮らしながら体験でき
る場を提供します

事業詳細

- 蒲郡の魅力が詰まった空き家を再生し
安全で快適な住空間に改修
- 高台・温泉地・海沿いなど
多彩なロケーションを活かして利活用
- 月単位で滞在できるサブスク
型移住体験拠点として運用
- 地域の自然・文化・生活を暮らしながら
体験できる場



空き家を活用する理由

- 長期間住める場所を提供したい
- ホテル、アパート×
- 移住者やファミリー層は一軒家での暮らしを望んでいる
- 低価格で提供できる

提供価値

- 暮らす前に体験できる移住体験
 - 蒲郡の自然・文化・生活を実感
 - 地域交流の機会
 - 季節ごとのアクティビティを体験できる
 - 滞在スタイルや物件タイプを選べる自由度
 - SNSで共有したくなる話題性・特別感のある体験
-

地域課題解決と魅力創出

- 定住・移住で大切な3つである
「1.住む場所2.働く場所3.知ってもらうこと」の中で住む場所と話題性もあり
知ってもらうことができる事業モデル
- 市民意識調査で満足度1番低い空き家問題の解決と同時に、地域の魅力を実感できる拠点へ転換する

これまでの活動！！！

くらふとフェア蒲郡2025にて アンケート調査を実施

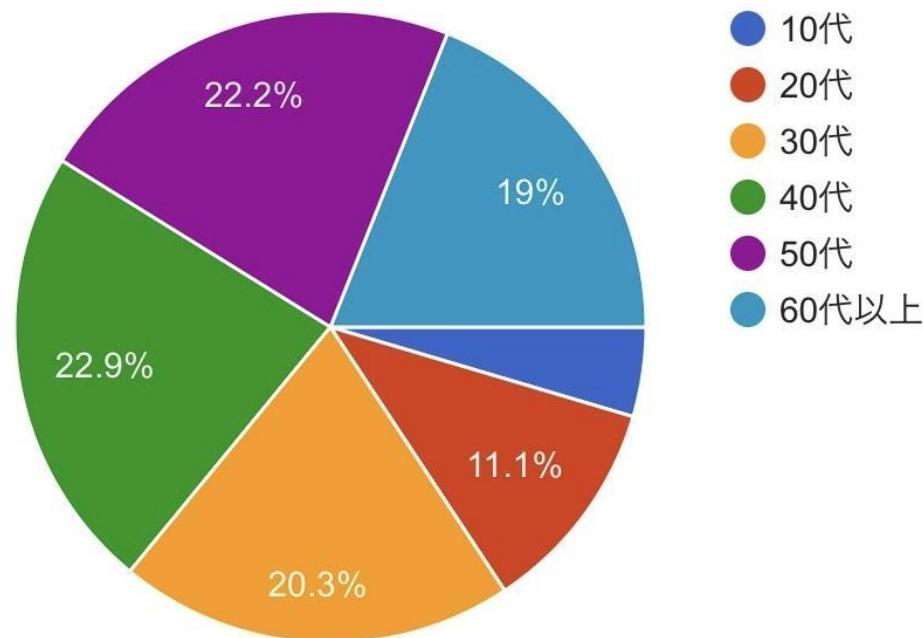


あなたの年齢

153 件の回答

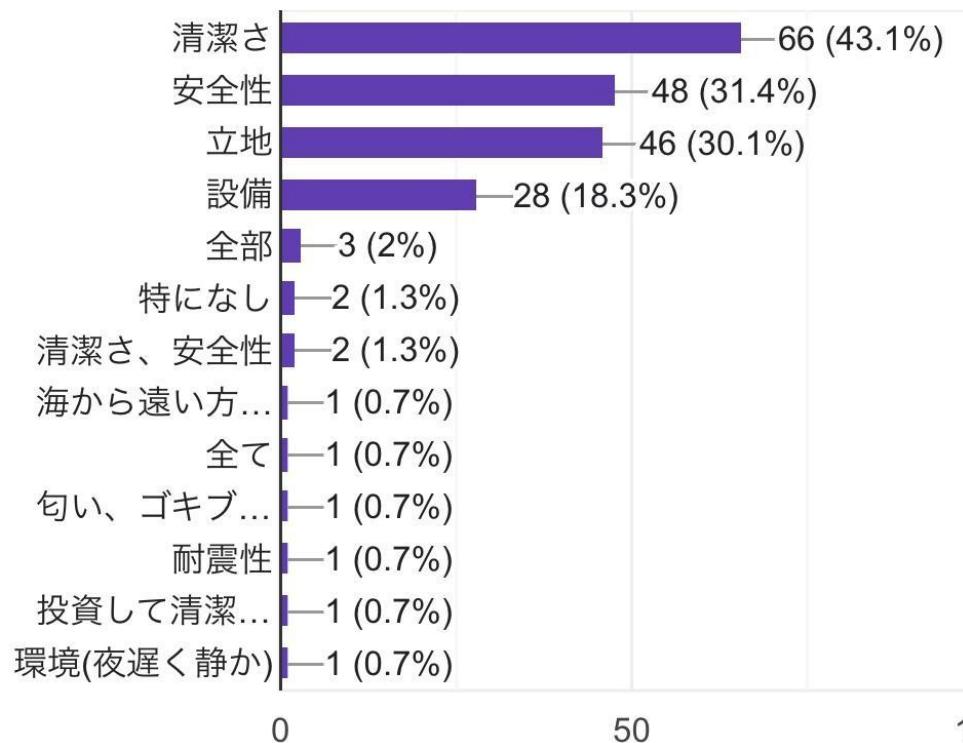
住んでる地域

- ・蒲郡市 34%
- ・岡崎市 8 %
- ・豊川市 8 %
- ・県外 25%



空き家を利用するときに 求める条件（清潔さ／安 全性／立地／設備）

153 件の回答



質問についての特記事項

飲食許可

利便性、スーパー、病院などが近くにないと魅力
が出ない

水回り

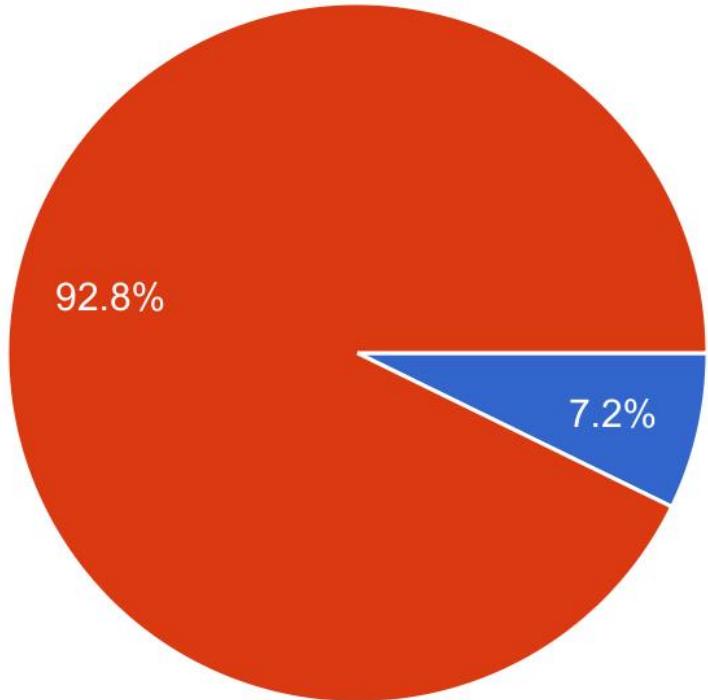
海

畑、解体場が欲しい。

家具家電はマスト。

現在、手放したい空き家
はありますか？

152 件の回答



質問についての特記事項

今住んでる所

蒲郡市が実施するなら協力できる物件はある。

後々

精文館裏に親所有の空き家あり、サブスクで儲かるのであれば興味がある。

今後家を離れようとは思っている。

土地はあるけど…

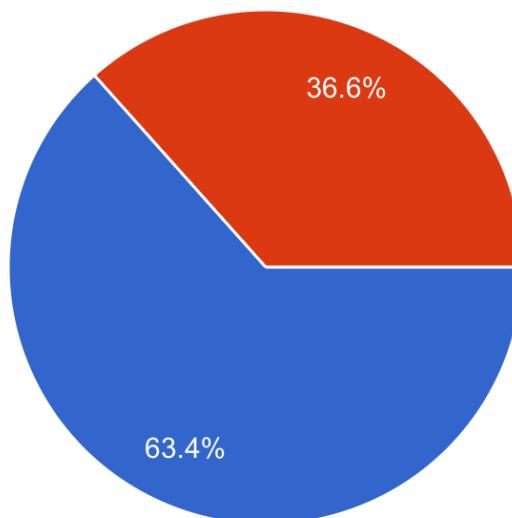
蒲郡は仕事がない。三谷北通りにあるよ。

持っていないけど鹿島にある

春日井

「定額料金（月額）で、
蒲郡市内の家具家電付き
空き家を短期間利用でき
る“サブスク型移住体験サ
ービス”があれば、興味は
ありますか？

153 件の回答



質問についての 特記事項

安い（敷金礼金なし）

駐車場があれば

お店がやりたい

水回り

お客様を呼ぶものがない。海産物が手頃に買えると
ころ。ラグーナは遠い。

県外なら可

3万5千円くらい

5万くらい

分からぬ、アパートより安いはいい。

固定資産税を月割り

移住の想像が...空き家の周りに何があるか

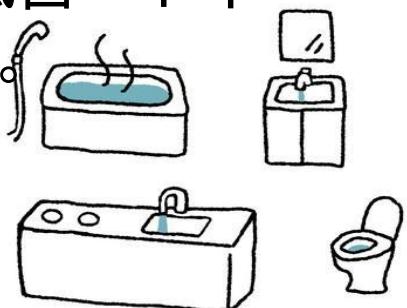
アンケート調査を通じてわかったこと

空き家活用には“最低限のライフラインの整備”が最優先である

回答では 清潔さ・水回り・安全性 が最も多く選ばれており、移住者は「豪華さ」より“生活に支障がない状態”を重視していることが明確。

▶ 提言

- 空き家の利活用を進める際は、まず 水回り（風呂・トイレ・キッチン）を重点的に改善する事業を整える。



サブスク型・短期移住体験サービスへの需要が高い

「定額で家具家電付き空き家を短期利用できるサービス」に対し

6割以上が「興味あり」と回答。

► 提言

- 蒲郡市で“お試し移住ハウス（家具家電つき）”を、複数戸で整備する。
- 実証モデルとして、まず数軒から始め、市内周遊・関係人口の増加を目的に運用する。



空き家所有者の多くは「自分では活用できない」ため、市による受け皿が必要

► 提言

- 市主導で“空き家バンクの強化”を行い、所有者が手軽に提供できる仕組みを整える。
- 「市が活用するなら提供したい」という回答もあるため、行政が介在する安心感を重視した制度設計が有効。

市は「移住×空き家」を一体で取り扱う政策パッケージを整える。



ご清聴ありがとうございました

